後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部
基本施策	2	社会資本の安定的な供給		
単位施策名称	1	インフラ資産の計画的な維持・保全		
施策の方向性	●道路、橋りょう、公園、河川等の計画的な維持・保全、延命化を図ります。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	実施計画期間中の修繕実施橋りょう数（累計）	橋	目標値		3	3	6	8	12
			実績値	－	4	6	7	10	14
			達成状況		達成	達成	達成	達成	達成
2	実施計画期間中の修繕実施道路延長（累計）	m	目標値		800	1,600	2,400	3,200	4,000
			実績値	－	755	1,482	2,112	2,845	3,139
			達成状況		未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	橋りょう修繕については、目標値よりも1橋多く実施し、長寿命化を図りました。 道路舗装修繕については、現場条件に伴い、想定していたよりも施工費が上がったため修繕延長が伸びず、目標は未達成となりました。
R4	橋りょうの修繕については、定期的な調査を踏まえ、橋梁長寿命化修繕計画を令和3年度に見直した結果、当初計画から3橋修繕を増やし、長寿命化を図りました。 道路の修繕については、道路舗装修繕計画書に基づき舗装の修繕を計画的に進めていますが、社会情勢の変化などが要因となり人件費や材料費が高騰したため、目標値よりも修繕延長が伸びず、未達成となりました。
R5	橋りょうの維持・保全については、状態が悪い１橋に予算を集約して修繕を行いました。 また、道路の維持・保全については、道路舗装修繕計画に基づき、道路舗装の修繕を計画的に進めていますが、人件費や材料費等が高騰したため、修繕工事延長が伸びず、目標未達成となりました。
R6	橋りょうの維持・保全については、「橋りょう長寿命化計画」に基づき、3橋の工事を実施したことにより、目標値を達成しました。 また、道路の維持・保全については、道路舗装修繕計画に基づき、道路舗装の修繕を計画的に進めていますが、人件費や材料費等が高騰したため、修繕工事延長が伸びず、目標未達成となりました。
R7	橋りょうの維持・保全については、「橋りょう長寿命化計画」に基づき、4橋の工事を実施し、後期実施計画期間中に14橋の長寿命化を図りました。 道路の維持・保全については、「道路舗装修繕計画」に基づき、道路舗装の修繕を計画的に進めていますが、人件費や材料費等が高騰したため、修繕実施道路延長が伸びませんでした。

・評価及び対応方針

R3	各施設の長寿命化計画に基づき、引き続き計画的な長寿命化を図ります。
R4	
R5	道路や橋りょう、公園施設など公共施設の長寿命化を計画的に推進し、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを構築します。
R6	
R7	橋りょうについては、修繕実施橋りょう数が14橋となり、目標を達成しました。道路については、人件費や材料費等の高騰に伴い、修繕実施道路延長が伸びず目標が未達成となりました。府中町第5次総合計画においても引き続き、物価高騰等の社会情勢の変化を踏まえながら、道路や橋りょう、公園施設など公共施設の長寿命化を計画的に行い、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	橋りょう長寿命化事業	40,909	13,231	25,942	22,853	12,336	115,271
2	道路補修等事業	81,435	89,815	76,684	90,071	101,020	439,025
3	都市公園等長寿命化事業	15,402	34,231	11,127	74,994	33,903	169,657
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		137,746	137,277	113,753	187,918	147,259	723,953

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	橋りょう長寿命化事業	事業番号	421101
担当部署名	建設部　　維持管理課		
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	2 社会資本の安定的な供給		
単位施策	1 インフラ資産の計画的な維持・保全		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 「広島県定期点検要領」に基づき、定期点検を行いました。 ・定期点検　7橋 ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 ・工事橋数　4橋 ○ 老朽化した橋りょうの長寿命化を図ることを目的とした橋りょう長寿命化計画の改定を行いました。 ・対象橋数　50橋
R4	○ 「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、詳細設計を行いました。 ・設計橋数　4橋 ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 ・工事橋数　2橋
R5	○ 「広島県定期点検要領」に基づき、定期点検を行いました。 ・点検橋数　14橋 ○ 「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、詳細設計を行いました。 ・設計橋数　2橋（R5当初） ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 ・工事橋数　1橋
R6	○ 「広島県定期点検要領」に基づき、定期点検を行いました。 ・点検橋数　14橋 ○ 「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、詳細設計を行いました。 ・設計橋数　1橋 ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 ・工事橋数　3橋
R7	○ 「広島県定期点検要領」に基づき、定期点検を行いました。 ・点検橋数　22橋 ○ 「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、詳細設計を行いました。 ・設計橋数　1橋 ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 ・工事橋数　4橋

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	事業進捗率	%	目標値	23.5	45.2	60.7	84.1	100
			実績値	20.9	32.9	54.1	76.2	100
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	事業の進捗状況を把握するため、事業進捗率を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	40,909	21,993	0	16,714	0	2,202
R4	13,231	7,172	0	5,205	0	854
R5	25,942	12,025	0	8,778	0	5,139
R6	22,853	10,959	0	6,256	2,708	2,930
R7	12,336	6,389	0	1,869	0	4,078
合計	115,271	58,538	0	38,822	2,708	15,203

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	計画していた事業費よりも少額で事業が実施できたため、事業費に基づく目標は未達成となりましたが、改修工事の橋数については、計画していた3橋から1橋追加した4橋を実施し、橋りょうの長寿命化を図ることができました。
R4	計画していた事業費よりも少額で事業が実施できたため、事業費に基づく目標は未達成となりましたが、設計・工事ともに計画どおりの橋数を実施し、橋りょうの長寿命化を図ることができました。
R5	計画していた事業費よりも少額で事業が実施できたため、事業費に基づく目標は未達成となりましたが、点検・設計・工事ともに計画どおりの橋数を実施し、橋りょうの長寿命化を図ることができました。
R6	計画していた事業費よりも少額で事業が実施できたため、事業費に基づく目標は未達成となりましたが、工事は計画どおりの橋数を実施し、橋りょうの長寿命化を図ることができました。
R7	橋りょうの長寿命化工事を4橋実施し、計画どおり橋りょうの長寿命化を図ることができました。 点検時に健全度Ⅲ（早期措置段階）と判定された橋りょうが2橋増えました。（1橋→3橋）

・評価及び対応方針

R3	目標を達成できるよう事業費の精査を行うとともに、橋りょう長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を進めていきます。
R4	目標を達成できるよう事業費の精査を行うとともに、橋りょうの長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を進めていきます。
R5	目標を達成できるよう事業費の精査を行うとともに、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管理を推進します。
R6	安心・安全なインフラ資産の維持保全を図るため、目標の達成に向け事業費の精査を行うとともに、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管理を推進します。
R7	安心・安全なインフラ資産の維持保全を図るため、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋りょうの長寿命化工事を行うことで目標を達成しました。 新たに健全度Ⅲ（早期措置段階）と判定された橋りょうが増えたことから、府中町第5次総合計画においても引き続き、安心・安全なインフラ資産の維持保全を図るため、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管理を推進します。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	事業費に基づく目標は未達成ですが、工事橋りょう数は計画よりも1橋多く実施することができました。
R4	事業費に基づく目標は未達成ですが、設計および工事橋りょう数は計画どおりに実施することができました。
R5	事業費に基づく目標は未達成ですが、点検・設計・工事橋りょう数は計画どおりに実施することができました。
R6	本事業の指標としている事業費に基づく事業進捗率の目標は未達成でしたが、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく、橋りょうの修繕工事は計画どおりに実施しました。
R7	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの定期点検及び修繕工事を実施し、計画どおりに事業を進めることができました。

・評価及び対応方針

R3	改定を行った橋りょう長寿命化計画に基づき、引き続き計画的な橋りょうの長寿命化を進めていきます。
R4	橋りょう長寿命化計画に基づき、引き続き計画的な橋りょうの長寿命化を進めていきます。
R5	安心・安全な都市施設の維持保全を図るため、町が管理する50橋梁（橋長2m以上）について、橋りょうの定期点検を実施し、橋りょう長寿命化修繕計画に基づいた予防保全型の維持管理を推進します。
R6	安心・安全な都市施設の維持保全を図るため、町が管理する50橋梁について、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく定期点検と修繕工事を実施し、予防保全型の維持管理を推進します。
R7	安心・安全な都市施設の維持保全を図るため、府中町第5次総合計画においても引き続き、町が管理する50橋梁について、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく定期点検と修繕工事を実施し、予防保全型の維持管理により橋りょうの長寿命化を図ります。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	道路補修等事業	事業番号	421102
担当部署名	建設部　　維持管理課		
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	2 社会資本の安定的な供給		
単位施策	1 インフラ資産の計画的な維持・保全		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から補修を行いました。 ・瀬戸ハイム31号線（変更路線）　L=86m ・御衣尾永田線　L=282m ・柳ケ丘2号線　L=201m ○ 要望が多く、舗装の損傷度が高い道路から補修を行いました。 ・府中大橋大須線　L=98m ・青崎30号線（変更路線）　L=88m ○ 老朽化した水路を改良しました。 ・施工延長　L=36m ○ 里道の崩壊対策および防草対策を施工しました。 ・施工延長　L=90m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修　106件 ・県道の維持補修　22件 ※県道に係る維持管理については、県の交付金により実施しました。
R4	○ 道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から舗装の補修を行いました。 ・埃宮総社線　L=140m ・瀬戸ハイム中央道路　L=267m ・青崎25号線　L=56m ・柳ケ丘南北線　L=167m ○ 要望が多く、舗装の損傷度が高い道路の補修を行いました。 ・大須上岡田線（歩道）　L=98m ○ 道路舗装の状態を把握し、継続的かつ計画的な修繕を図るため、舗装修繕計画を改訂しました。 ・道路延長　L=117km ○ 老朽化した水路を改良しました。 ・施工延長　23m ○ 里道に排水対策を施しました。 ・施工延長　49m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修　143件 ・県道の維持補修　31件 ※県道に係る維持管理については、県の交付金により実施しました。
R5	○ 「道路舗装修繕計画」に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、舗装の補修を行いました。 ・大須上岡田線　L=132m　・鶴江鹿籠線　L=155m　・瀬戸ハイム31号線　L=134m ○ 要望が多く、舗装の損傷度が高い道路の補修を行いました。 ・八幡25号線　L=86m　・浜田23号線　L=123m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修　159件 ・県道の維持補修　41件 ※県道に係る維持管理については、県の交付金により行いました。
R6	○ 「道路舗装修繕計画」に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、舗装の補修を行いました。 ・大須上岡田線　L=132m　・御衣尾永田線　L=49m　・瀬戸ハイム31号線　L=85m ・大須上岡田線（歩道）　L=59m ○ 要望が多く、舗装の損傷度が高い道路の補修を行いました。 ・埃宮総社線　L=52m　・宮の町2号線　L=75m　・浜田23号線　L=73m　・柳ヶ丘28・32号線　L=158m ・柳ヶ丘36号線　L=50m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修　165件 ・県道の維持補修　28件 ※県道に係る維持管理については、県の交付金により行いました。
R7	○ 「道路舗装修繕計画」に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、舗装の補修を行いました。 ・青崎東住宅線　L=135m　・瀬戸ハイム31号線　L=159m ○ 道路法面の補強対策を行いました。 ・瀬戸ハイム11号線　A=176㎡ ○ 歩道の改良工事を行いました。 ・大須上岡田線ほか　植樹桝撤去及び舗装　A=77㎡ ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修　135件 ・県道の維持補修　30件 ※県道に係る維持管理については、県の交付金により行いました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	事業進捗率	%	目標値	19.5	41.6	61.1	80.5	100
			実績値	18.5	39.7	58.9	79.6	100
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	事業の進捗状況を把握するため、事業進捗率を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	81,435	0	14,131	24,145	0	43,159
R4	89,815	3,740	15,574	21,801	0	48,700
R5	76,684	0	15,399	20,828	539	39,918
R6	90,071	0	16,254	25,977	0	47,840
R7	101,020	0	18,988	33,110	0	48,922
合計	439,025	3,740	80,346	125,861	539	228,539

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	大型バスが通行する街路の舗装修繕については、運行への影響を避けるため、夜間施工により対応したほか、既存の舗装が想定していたよりも厚く、舗装の破砕・処分量が増加したため、施工費が上がり、目標としていた事業進捗が図れませんでした。
R4	人件費や材料費が上がったため、目標としていた事業進捗が図れませんでした。
R5	人件費や材料費等の高騰により、目標としていた事業進捗が図れませんでした。
R6	道路舗装修繕計画の年次計画に含まれていないが、舗装状態が悪く要望が多い路線の修繕を行ったことや、人件費や材料費等の高騰により、目標としていた事業進捗が図れませんでした。
R7	人件費や材料費の高騰など社会情勢の変化を踏まえ、道路舗装修繕計画に基づき、舗装修繕工事を行いました。 道路法面の補強対策や街路樹を伐採した植樹桝撤去及び舗装を行いました。

・評価及び対応方針

R3	バス等大型車両の多い街路については、周辺住民の生活への影響も考慮しながら、施工方法等を選定し、適切な舗装修繕を計画的に実施していきます。
R4	目標を達成できるよう事業費の精査を行うとともに、道路舗装修繕計画に基づき、計画的な維持管理を進めていきます。
R5	安心・安全なインフラ資産の維持保全を図るため、目標の達成に向け事業費の精査を行うとともに、道路舗装修繕計画に基づき、健全な維持管理を推進します。
R6	安心・安全なインフラ資産の維持保全を図るため、目標の達成に向け事業費の精査を行うとともに、道路舗装修繕計画に基づき、計画的な維持管理を推進します。
R7	人件費や材料費の高騰など社会情勢の変化を踏まえた事業費の精査を行い、事業を実施することで目標を達成しました。 府中町第5次総合計画においても引き続き、安心・安全なインフラ資産の維持保全を図るため、道路舗装修繕計画に基づき、計画的な維持管理を推進します。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	道路舗装修繕について、大型バスの運行への影響が懸念される路線を夜間施工としたことや、既存舗装の破砕・処分量が想定よりも増加したことから、施工費が上がり修繕延長が伸びず、目標未達成となりました。
R4	計画時よりも施工費が上がったため、目標未達成となりました。
R5	社会情勢の変化により、燃料費や材料費、人件費が高騰し、施工費が上がったため、目標未達成となりました。
R6	社会情勢の変化により、燃料費や材料費、人件費が高騰し、施工費が上がり修繕延長が伸びず、目標未達成となりました。
R7	舗装修繕計画に基づく、舗装の修繕工事を計画どおりに実施し、本事業の指標としている事業費に基づく事業進捗率の目標が達成できました。

・評価及び対応方針

R3	道路舗装修繕計画に基づき適切な舗装修繕を行う必要があることから、引き続き目標達成に向けて事業を実施していきます。
R4	道路舗装修繕計画に基づき計画的に舗装修繕を行うことにより、引き続き目標達成に向けて事業を実施していきます。
R5	道路舗装修繕計画に基づき、計画的に舗装修繕を行うことにより、道路を良好な状態に保ち、安心・安全な住環境を確保します。
R6	道路舗装修繕計画に基づき、計画的に舗装修繕を行うことにより、道路を良好な状態に保ち、安心・安全な住環境を確保します。
R7	府中町第5次総合計画においても引き続き、安心・安全な都市施設の維持保全を図るため、道路舗装修繕計画に基づく修繕工事を実施し、道路を良好な状態に保ち、安心・安全な住環境を確保します。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略 ○

事務事業の名称	都市公園等長寿命化事業	事業番号	421103
担当部署名	建設部　維持管理課		
政策体系			
基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	
基本施策	2	社会資本の安定的な供給	
単位施策	1	インフラ資産の計画的な維持・保全	

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○　下榊公園・山越公園に新しい複合遊具を設置しました。 ○　チェリーゴード空城パーク・揚倉山健康運動公園の公園施設の老朽化調査等を行い、公園施設長寿命化計画を策定しました。
R4	○　チェリーゴード空城パークの公園施設について、公園施設長寿命化計画において更新が必要とされた施設を対象として再整備計画を策定しました。 ○　公園施設長寿命化計画に基づき、えの宮公園・大樋の口公園・柳ヶ丘公園・石井城公園の遊具をリニューアルしました。
R5	○　ＷＡＣＴＯＲＹパーク揚倉山の木橋、池尻児童遊園の複合遊具を更新しました。 ○　令和5年度の国の補正予算の採択を受けたうえで、令和5年度にプロポーザルによる業者選定を実施予定でしたが、国・広島県との協議により、令和6年度の国の当初予算の採択を受けることとなったため、プロポーザルによる業者選定手続きも令和6年度の実施予定となりました。
R6	○　チェリーゴード空城パークの老朽化したアスレチック遊具や健康遊具等の撤去を行い、新たな遊具を設置する等、公園のリニューアルを行いました。 ○　遊具新設は、民間事業者からの提案を求めるプロポーザル方式により事業者を選定しました。
R7	○　「公園施設長寿命化計画」に基づき、青崎公園の複合遊具等を更新しました。遊具等は、民間事業者からの提案を求めるプロポーザル方式により選定しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	実施計画期間中の遊具リニューアル公園数（累計）	箇所	目標値	2	8	10	12	13
			実績値	2	6	8	9	10
			達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	公園遊具の更新等が目的であるため、遊具リニューアル公園数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	15,402	3,422	0	7,689	0	4,291
R4	34,231	14,110	0	12,636	0	7,485
R5	11,127	2,122	0	1,909	0	7,096
R6	74,994	28,586	0	24,000	0	22,408
R7	33,903	16,611	0	16,566	605	121
合計	169,657	64,851	0	62,800	605	41,401

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	計画通り2つの公園（下榊公園・山越公園）の遊具をリニューアルすることができ、目標達成となりました。
R4	令和3年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助制度を活用し、老朽化した公園施設の更新を行いました。 社会情勢の変化などにより、資材、人件費等が高騰するなどの影響を受けたため、計画していた遊具リニューアル公園数の目標を達成することができませんでした。
R5	公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助制度を活用し、老朽化した公園施設の更新を行いました。 人件費や材料費等の高騰により、計画していた遊具リニューアル公園数の目標値を達成することができませんでした。
R6	公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助制度を活用し、チェリーゴード空城パーク公園施設の更新を行いました。 人件費や材料費等の高騰により、計画していた遊具リニューアル公園数の目標値を達成することができませんでした。
R7	公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助制度を活用して、青崎公園の遊具等の更新を行いました。

・評価及び対応方針

R3	住民の皆様に安心安全に遊んでいただけるよう、今後も計画的に遊具のリニューアルを実施していきます。
R4	公園をリニューアルする際は、地域や利用者の声を聞きながら整備を進めています。今後も公園利用者に、安心・安全で快適に利用していただけるよう、遊具をはじめ、公園施設のリニューアルを計画的に実施します。
R5	公園をリニューアルする際は、地域や利用者の声を聴きながら整備を進めていきます。今後も公園利用者に、安心・安全で快適に利用していただけるよう、公園施設のリニューアルを計画的に実施していきます。
R6	公園をリニューアルする際は、地域や利用者の声を聴きながら整備を進めていきます。今後も公園利用者に、安心・安全で快適に利用していただけるよう、公園施設のリニューアルを計画的に実施していきます。
R7	府中町第5次総合計画では、「公園遊具等更新事業」として遊具の更新を実施し、「公園メンテナンス事業」として公園施設長寿命化計画に基づき、地域や利用者の声を聴きながら公園施設の更新を実施していきます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	下榊公園・山越公園の2公園を対象に、地元子ども会にアンケートを実施するなどして、地域ニーズに即応した複合遊具を設置しました。
R4	えの宮公園、大樋の口公園及び石井城公園の3公園を対象に、地元子ども会にアンケートを実施することにより、地域ニーズに即応した複合遊具の更新を行いました。
R5	社会情勢の変化により、燃料費や材料費、人件費が高騰し、施工費が上がったため、目標未達成となりました。
R6	チェリーゴード空城パークの遊具更新に際して、近隣小学校へアンケートを実施するなどして、地域ニーズを踏まえた遊具の更新を行いました。 社会情勢の変化により、燃料費や材料費、人件費が高騰し、施工費が大きく上がったため、目標未達成となりました。
R7	公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助制度を活用して、青崎公園の遊具等の更新を行いました。 近年の社会経済情勢の変化により、材料費や人件費が高騰し、遊具等公園施設の更新費用も高騰したため、後期実施計画期間中の目標を達成できませんでした。

・評価及び対応方針

R3	令和3年度においては、2公園への複合遊具の設置のほか、公園施設長寿命化計画を策定しました。今後は計画に基づき、老朽化した公園施設をリニューアルし、子ども達をはじめ、誰もが安心して遊べる公園を目指します。
R4	令和3年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設をリニューアルし、子ども達をはじめ、誰もが安心して遊ぶことができる公園を目指します。
R5	池尻児童遊園の遊具更新については、地元子ども会にアンケートを実施し、地域ニーズに応じた複合遊具と誰もが遊ぶことのできるインクルーシブ遊具を設置しました。公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設を計画的にリニューアルし、誰もが安心して遊ぶことができる公園、コミュニケーションの場として賑わい溢れる公園の再整備を進めます。
R6	令和3年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、引き続き,老朽化した公園施設を計画的にリニューアルし、誰もが安心して遊ぶことができる公園、ユニバーサルデザインに配慮した賑わい溢れる公園の再整備を進めます。
R7	青崎公園の遊具更新においては、民間事業者からの提案を求めるプロポーザル方式を採用し、近隣の幼稚園や保育園等にアンケートを実施するなどし、利用者ニーズを踏まえた遊具を選定しました。 府中町第5次総合計画においても引き続き、ユニバーサルデザインに配慮した誰もが安心して遊ぶことができ、様々な公園利用者が集う賑わい溢れる公園の再整備を推進します。